



ONE DREAM 2022

~25th Anniversary Edition~

ARTS x SDGs x the BEAUTIFUL WORLD

12/4 SUN
11:00-21:00 (午)

【会場】

基町クレドメディア&スペース

- 11階／・NTT クレドホール(※有料エリア/要チケット)
・ロビー内ステージ ・ロビー内展示エリア
・ラウンジ展示エリア
- 6階／翼の広場 ○1階／ふれあい広場
(雨天時は 11階・6階で実施)

【主な出演者・作品】

- 館野 泉
- 映画「森の学校」
- 広島交響楽団(弦楽十一重奏)
- 映画「イメージの本」
- 絵本『ベイビーレボリューション』



【お問い合わせ先】
ONE DREAM 2022 事務局
TEL:080-4558-4459
e-mail:odart@outlook.jp
URL:http://one-dre.com

NTT クレドホール		大人 前売り券	大人 当日券	20歳以下 当日券
1部	館野泉・広島交響楽団(弦楽十一重奏)	4,000円	4,500円	3,500円
2部	前編「森の学校」	1,800円	1,800円	1,300円
	後編「イメージの本」	1,500円	1,500円	1,000円
1Day Tickrt		6,000円	7,000円	5,500円

※その他の会場は無料でご観覧いただけます。

1998年にスタートした原爆ドーム前の元安川を舞台にした平和コンサートは形を変えながら継承され、今年で25年目を迎えます。原子爆弾から、77年。これまで数え切れない人々が平和記念公園を訪れ、今では焼け野原からは想像もできない、緑あふれる街へと変わった広島。それは力強い、世界の希望の象徴です。焼け野原だった状態から人々はどのようにして、今をつくって来られたのでしょうか。それは、沢山のひとりの"夢の集合体"ではないでしょうか。人間のもっている夢が、ほんとうは皆同じものなのだと感じられさえすれば、私たちはどんなことでも美しくつくり変えてゆけるのだと、この大地は世界に語りかけているように思います。

あらゆるアートは、人間を瞬間にして裸にしてくれます。思想や宗教、言語や階級など様々な壁を超え、裸のところで結びつけてくれます。

私たち one dream は、その無限の可能性を使い、皆で楽しく幸せに生きたいと願う誰もが持っている普遍的な夢を集め、希望の象徴としての『ONE DREAM』を今後も開催してゆきたいと思っています。

誰もがここに持つ"ONE DREAM"を未来へとはこぶ、無色透明な容器として。生命が助け合い、愛であふれる地球=大きなひとつの夢を目指して。



館野泉

クラシック界のレジェンド、85歳ピアニスト。広島市内でのリサイタルは10年以上振りとなる。領域に捉われず、分野にこだわらず、常に新鮮な視点で演奏芸術の可能性を広げ、不動の地位を築いた。2002年に脳溢血で倒れ右半身不随となるも、しなやかにその運命を受けとめ、「左手のピアニスト」として活動を再開。尽きることのない情熱を、一層音楽の探求に傾け、独自のジャンルを切り開いた。「館野泉の左手」のために捧げられた作品は、10ヶ国の作曲家により、100曲にも及ぶ。2020年、演奏生活60周年を迎えて開催の記念リサイタルの全国ツアーは各地にて大反響をよぶ。もはや「左手」のこだわりなど必要ない、身体を超える境地に至った「真の巨匠」の風格は、揺るぎない信念とひたむきな姿がもたらす、最大の魅力である。館野 泉公式HP <https://www.izumi-tateno.com/>



映画『森の学校』 西垣吉春 監督 / 文部科学省 特別選定・厚生労働省 推薦・環境省 推薦

12歳の三浦春馬さん、初の主役映画。広島市内中心部では、16年振りの上映。河合雅雄・京都大学名誉教授の著書『少年動物誌』を原作とした作品。「こどもは群れる」河合雅雄
夏の川原には人影がみえず、がらんとして淋しい。秋のたんぼぼの土手には柿がたわわに実ったまま、誰も手をつけないうま熟し落ちるにまかされたまま。川で群れ、水遊びに興じていたこどもたち、柿の木に登り、秋の陽光にほっぺを輝かせて山猿のように柿をほおぼっていたこどもたちは、どこへ行ってしまったのだろう。こどもの自然なながれはげしい。蝉とりや魚どりに夢中になり、野を駆け、木に登り群れて遊びほうける『こどもの自然』をとり戻したい。こどもの生き生きとした命を育み、命の大切さを感じさせる自然の中での新しい遊びの世界を、この映画を通して知っていただけると嬉しい。



広島交響楽団(弦楽十一重奏)

国際平和文化都市「広島」を本拠地とする、中・四国を代表するプロオーケストラ。秋山和慶が2004年から2016年まで音楽監督・常任指揮者を務めた(2017年終身名誉指揮者に就任)。2017年からは、下野竜也が音楽総監督に、クリスティアン・アルミンクが首席客演指揮者に迎えて新体制をスタートさせた。また2016年には、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスターのフォルクハルト・シュトイデがミュージック・パートナーに就任した。また、マルタ・アルゲリッチに広響「平和音楽大使」の称号を贈り、相互に世界平和のための音楽活動を続けることを約束した。これまでに、「広島市政功労賞」「広島文化賞」「広島ホームテレビ文化賞」「地域文化功労者賞(文部大臣表彰)」「第54回中国文化賞」「第17回県民文化奨励賞」「第5回国際交流奨励賞」「文化対話賞(ユネスコ)」「広島市民賞」を受賞。



映画『イメージの本』 監督・編集・ナレーション:ジャン=リュック・ゴダール 2018年/スイス・フランス合作/84分

何ひとつ 望み通りにならなくても 希望は生き続ける
『勝手にしやがれ』『気狂いピエロ』をはじめ数々の名作を世に送り出したヌーヴェルヴァーグの巨匠、ジャン=リュック・ゴダール。1930年仏・パリに生まれ、今年9月13日に91歳でその生涯を閉じるまで、世界の最先端でエネルギーに創作活動に取り組んだ監督の遺作となった『イメージの本』は、新たに撮影した映像に、様々な<絵画>、<映画>、<文章>、<音楽>を巧みにコラージュし、現代の暴力、戦争、不和などに満ちた世界に対する「怒り」をのせて、この世界が向かうとする未来を指し示した5章からなる物語。前作『さらば、愛の言葉よ3D』で、監督にしか創造し得ない新感覚の3D技法で世界中を驚かせ、本作では、枯渇することのないイメージと音を多用し、観客の想像力を縦横無尽に刺激する84分間のアート体験を約束する。<シンボリズム> 静寂にすぎない。革命の歌にすぎない。5本指のごとく、5章からなる物語---。
© Casa Azul Films - Ecran Noir Productions - 2018



絵本『ベイビーレボリューション』

浅井健一/文 奈良美智/絵 クレヨンハウス/刊

ある日突然、世界中のあかちゃんたちがはいはいして大行進!
ビルの谷間もジャングルも恐れず進むベイビーたちは、やがて戦場へ……。
「ベンジー」こと浅井健一さんのバンド「SHERBETS」の曲に、世界的に活躍中の画家・奈良美智さんの絵をのせた、ロックでスペシャルな絵本!
青い空の下、危険もかえりみず、はいはいしていく30億のベイビーたち。
その目は鋭くまっすぐ前を見つめ、戦争の愚かさを問い、平和の扉を開きます。

主催 / 一般社団法人 one dream 協力 / 環境省 中国環境パートナーシップオフィス、中国地方 ESD 活動支援センター
後援 / 広島県、広島市、広島県教育委員会、広島市教育委員会、独立行政法人国際協力機構 中国センター(JICA中国)、公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟
一般社団法人広島県医師会、広島商工会議所、中国新聞社、中国放送、広島エフエム放送、FM1はつかいち、特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター



one-dre.com

ONE DREAMはみなさまからのご協賛によって、運営されています。one dreamは、2015年4月にスタートした非営利の団体です。毎年8月5日の広島平和記念公園・親水テラスでの『ONE DREAM』をはじめとした、イベントの制作・運営を行っています。今後も、より充実したイベントになるよう、ご協力いただける企業さまを随時募集しています。お気軽にお問い合わせくださいませ。